

# 三野町の貝類相

クモ類・貝類班 (徳島県博物同好会)

河野 圭典<sup>\*1</sup>

## 1. はじめに

陸には陸産の貝類と池や川に生息する淡水産の貝類がある。陸産の貝類はカタツムリに象徴されるような殻の巻貝とキセルのような細長い形をした殻を持った巻貝の仲間に大きく二つに区別できる。そして、肺で呼吸している。淡水産貝類にはシジミに象徴されるような二枚貝と巻貝があって池や小川にすんでいて鰓<sup>えら</sup>で呼吸をしている。淡水産の貝類は水中に生息するが、陸貝は乾燥に弱く、湿度の保たれた森の中、特に広葉樹林の落葉下のような環境を住み場所としている。このような環境が減少したことと、地球温暖化現象にともない降水量や川の水量の減少によって、年の経過とともに陸貝の個体数は減少している。三野町は徳島県の西部に位置し、最北の県境に大川山(1042.9m、原生林は香川県琴南町)を最高峰にして、三野町の平野部は西・北・東の三方から阿讃<sup>あざん</sup>山地は細長くぐるっと取り囲まれている。町の南の平野に面して西から東に向って吉野川本流が流れ、町内の中央を北から縦断する形でいくつかの支流を集めながら河内谷川が南下し(三野町芝生<sup>しばう</sup>で)、吉野川本流に合流している。このほか本町にはいくつかの支流が流れている。

山地は阿讃山地が72%を占め、町の人工林率36%と低く、第二次林からなりほとんどの山がアカマツと広葉樹林はコナラで構成された雑木林が多い。耕地面積600haの44%が果樹園、畑25%、水田32%となっておりハッサク・タバコが主たる農産物である。

筆者は2002年7月下旬から8月上旬にかけて三野町の貝類相について調査した。これに加えて、1997年12月にかけて三野町の池における淡水産の貝類についての調査結果を図示の地点(図1)で採集し、21種を確認できた(図版1・2)。

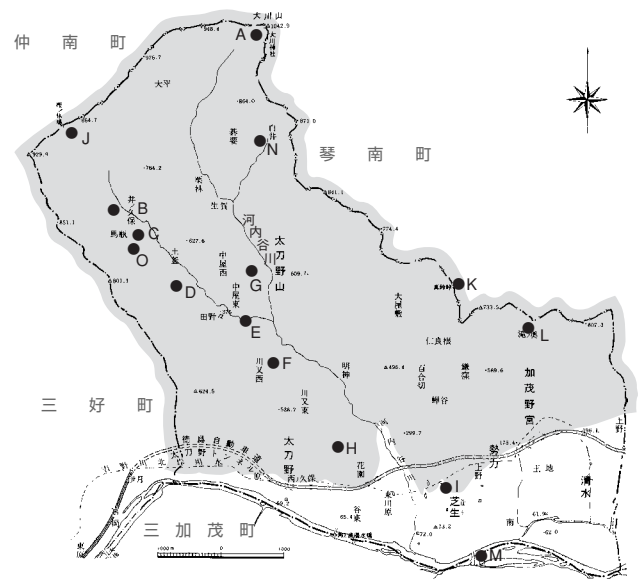


図1 調査地点位置図

- |               |            |
|---------------|------------|
| A: 大川山・大川神社一带 | I: 門前池(勢力) |
| B: 井の久保       | J: 檜ノ休場    |
| C: 馬瓶         | K: 真鈴峠     |
| D: 馬瓶―田野々     | L: 滝ノ奥     |
| E: 白石神社       | M: 東三好橋    |
| F: 川花神社       | N: 白井      |
| G: 三所神社       | O: 出来神社    |
| H: 奥宮神社       |            |

\*1 鳴門市撫養町黒崎字宮津157-9番地

## 2. 生息を確認できた貝類および過去に確認されている貝類

(注：学名は主として文献3・4によった。)

### 1) 文献記録のある貝類

1. Cyclopholus herklotsi Martens, 1861  
ヤマタニシ だいせんやま 大川山
2. Spirostoma japonicum (A.Adams, 1867)  
ヤマクルマ 井の窪
3. Waldemariya japonica var expolita (Pilsbry, 1903)  
スリツヤヤマキサゴ 大川山
4. Diplommatina (Sinica) kagawana Kuroda&Abe 1980  
カガワゴマガイ 大川山
5. Diplommatina (Sinica) kobelti Pilsbry, 1901  
コベルトゴマガイ 大川山
6. Diplommatina (Sinica) cassa Pilsbry, 1901  
ゴマガイ 大川山
7. Diplommatina (Sinica) shikokuensis Kuroda, Abe et Habe, 1961  
シコクゴマガイ 大川山
8. Diplommatina sp.  
ゴマガイの一種 大川山
9. Ena japonica (Moellendorff, 1885)  
フトキセルモドキ 大川山
10. Rna japonica daishianus Kuroda  
ダイシキセルモドキ 大川山
11. Gyraulus pulcher (Mori, 1938)  
ヒメヒラマキミズマイマイ 太刀野山・栗林 (淡水産)
12. Hemiphaedusa tozana (Pilsbry, 1901)  
トサギセル 大川山
13. Hemiphaedusa awajiensis (Pilsbry, 1900)  
アワジギセル 大川山
14. Tyrannophaedusa (Dicolliphaedusa) bilabrata (Smith, 1876)  
シリオレギセル うまがめ 馬瓶
15. Megalophaedusa martensi Pilsbry, 1908  
オオボケギセル 井の窪
16. M. (M.) hickonis fultoni (Sykes, 1895)  
フルトンキセル 馬瓶 大川山
17. Stereophaedusa japonica (Croze, 1871)  
ナミギセル 大川山 馬瓶
18. Nipponochlamys semisericata (Pilsbry, 1902)  
キヌツヤベッコウ 大川山
19. Japanochlamys awaensis (Pilsbry, 1902)  
アワクリイロベッコウ 大川山
20. Satsuma Satsuma ferruginea (Pilsbry, 1900)  
シメクチマイマイ 大川山
21. Aegista awajiensis (Gude, 1900)  
ジタロウマイマイ 井の窪 大川山 馬瓶
22. A. kobensis pertenuis (Pilsbry&Hirase, 1904)  
トサマイマイ 井の窪 馬瓶
23. Euhadra awaensis (Pilsbry, 1902)  
アワマイマイ 馬瓶

### 2) 今回確認できた貝類

#### (1) 陸産貝類

##### Family Helicinidae キサゴ科

1. Waldemaria japonica var. expolita (Pilsbry, 1903)  
スリツヤヤマキサゴ 大川山 自然林

##### Family Cyclophonidae ヤマタニシ科

2. Cyclotus Procyclus campanulatus Martens, 1865  
アツブタガイ 奥宮神社 川花神社
3. Spirostoma japonicum japonicum (A.Adams, 1867)  
ヤマクルマ 三所神社

##### Family Clausiliidae キセルガイ科

4. Pinguiphaedusa pinguis platydera (A.Adams, 1876)  
ツムガタギセル 三所神社 奥宮神社 馬瓶
5. Pinguiphaedusa awajiensis (Pilsbry, 1900)  
アワジギセル 奥宮神社 馬瓶
6. Tyrannophaedusa (Decolliphaedusa) bilabrata (Smith, 1876)  
シリオレギセル 奥宮神社
7. Megalophaedusa martensi (Martens, 1860)  
オオギセル 川花神社 馬瓶
8. Tyrannophaedusa (Aulacophaedusa) aulacophora aulacophora (Pilsbry, 1900)  
クロチビギセル 三所神社
9. Vastina (Mesophaedusa) hickonis hickobis (Boettger, 1877)  
コンボウギセル 大川山 死殻 (刈り草の中)

##### Family Helicarionidae ベッコウマイマイ科

10. Japanochlamys awaensis (Pilsbry, 1902)  
アワクリイロベッコウ 大川山 三所神社 (虫害殻)

##### Family Camaenidae ナンバンマイマイ科

11. Satsuma Satsuma myomphala myomphala (Martens, 1865)  
コベソマイマイ 三所神社 川花神社
12. Satsuma (Satsuma) ferruginea (Pilsbry, 1900)  
シメクチマイマイ 三所神社 出来神社
13. S. (S.) Japonica heteroglypta (Pilsbry, 1900)  
コニホンマイマイ 奥宮神社

##### Family Bradibaenidae オナジマイマイ科

14. Aegista (Aegista) goniosomoides Kuroda&Abe, 1980  
ミヤマオオベソマイマイ (生貝) 三所神社
15. Acusta despecta sieboldiana (Pfeiffer, 1850)  
ウスカワマイマイ 出来神社 (白化殻)
16. Euhadra awaensis (Pilsbry, 1902)  
アワマイマイ 大川山
17. Euhadra subnimbosa (Kobelt, 1894)  
セトウチマイマイ 三所神社 (小型成員)

##### Family Philomycidae ナメクジ科

18. Meghimatium fruhstorferi (Colling, 1901)  
ヤマナメクジ幼貝 (自然林内) 大川山

## (2) 淡水産貝類

## Family Viviparidae タニシ科

19. *Cipangopaludina japonica* (v. Martens, 1860)  
オオタニシ 門前池 (勢力)

## Family Unionidae イシガイ科

20. *Anodonta* (*Sinadonta*) *woodiana* (Lea, 1834)  
ドブガイ (タガイ型) 門前池 (勢力)

## Family Corbiculodae シジミ科

21. *Corbicula corbiculina leana* Prime, 1864  
マシジミ 門前池 (勢力)

## 3. まとめ

これまで三野町で確認された貝類のうち希産や特産の貝類について記しておく。

ミヤマオオベソマイマイ *Agesta goniomoides*  
(Kuroda & Abe, 1980)

本種は三好郡剣山大剣ならびに見ノ越・富士の池を模式産地とする本県特産種であり、南は阿南市、西は剣山、東は鳴門市の範囲で生息している。しかし、今回の調査で幼貝の生息が確認された。殻長17mm・殻高6mm程度の大きさである。クリ・クヌギ・コナラ等ブナ科の樹林の落葉下に生息しているが生息数が極度に少ない。

ヤマナメクジ *Incliaria fruhstroferi*  
(Collinge, 1901)

軟体は巨大で、13~16cmに及ぶ個体もある。山地性で冬期は老樹の洞穴内や倒木などのくぼ地で越冬している。2000年に鳴門市内で生息が確認され、今回阿讃山地に位置する三野町で確認されたことは意義が大きい。南は牟岐町対馬から広く四国山地にかけて過去に早くから確認されていた。本州、四国、九州、久米島に分布するが数は多くない。

オオギセル *Megalophaedusa martensi*  
(Martens, 1860)

本種はこれまでオオボケギセルの和名で調査されてきたが学名変更でオオギセルと登録された。これまで四国山地や阿讃山地の城王山、大滝山、妙体山で確認されていたが今回確認することができた。この陸貝は日本で最大のキセルガイであり、静岡県、

愛知県、三重県、滋賀県、京都府、和歌山県、徳島県、愛媛県というように太平洋側に広く分布していることが確認されている。

ツムガタギセル *Pinguiphaedusa pinguis platydera*  
(A. Adams, 1876)

具体的な産地がはっきりしない。東北~近畿、四国東部まで分布している。徳島県でも西部の山地に分布するが数は多くない。城王山で過去に採集されているが阿讃山地では2回目の確認である。樹上性で、大木の幹や森林内の倒木や朽木に付着している。今回は山地全体が乾燥していたためか個体の発見場所では伐採した木材の積み木の間に潜っていた。湿度を求めてのことと推察される。

クロチビギセル *Tyrannophaedusa* (*Aulacophaedusa*)  
*aulacphora aulacophora* (Pilsbry, 1900)

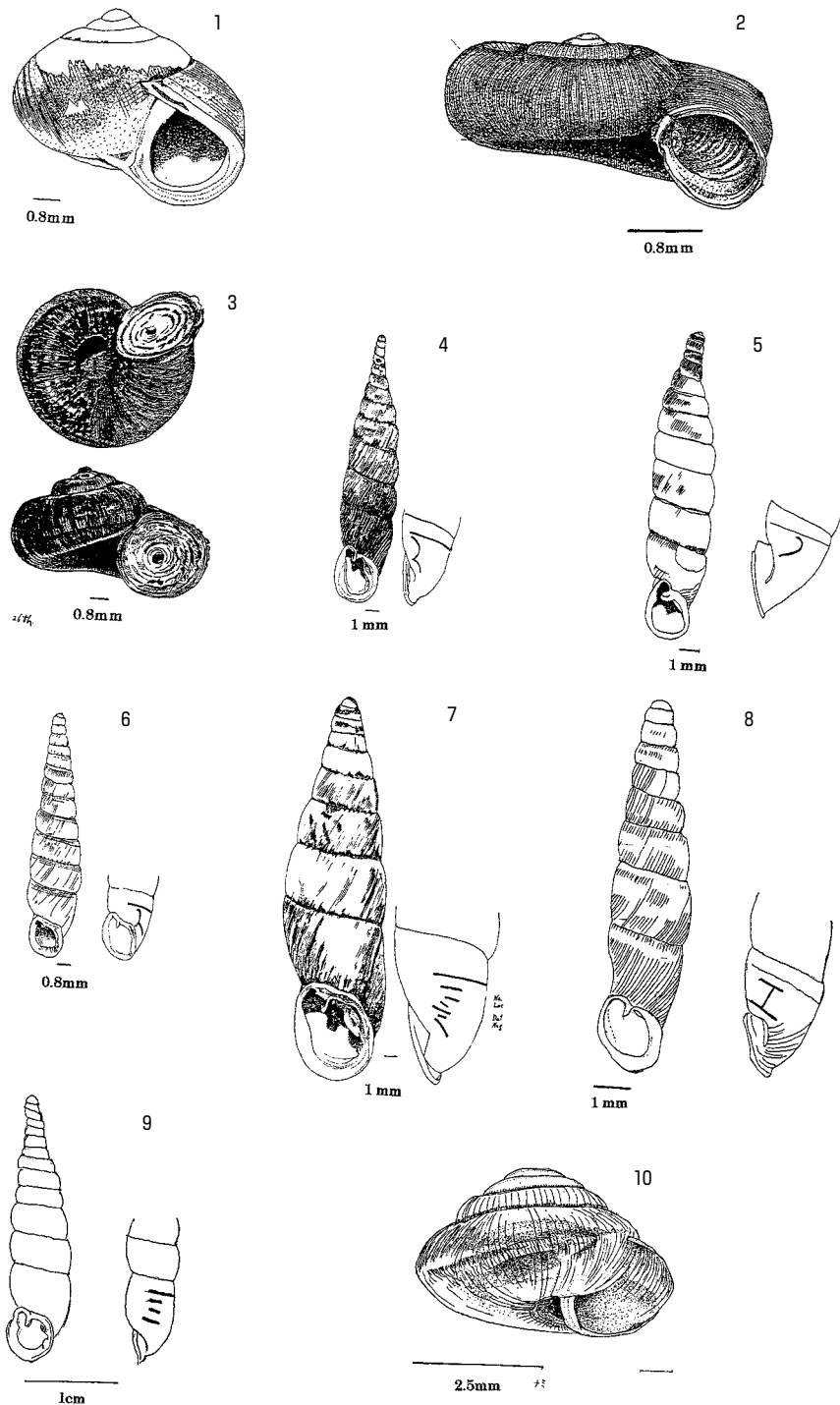
和歌山県友が島で発見され、淡路島、徳島県の大麻比古神社・神山町の柴小屋等ごく限られた地域しか生息が確認されていない。今回、河内谷川西側の山地より発見された。

1975年頃から環境問題で地球温暖化が指摘されてきた。毎年調査に参加してきたが近年、山々が非常に乾燥してきていることである。特に陸貝は乾燥に弱い生物である。県内を調査して45年を経過したが、この経験から山々の地肌が乾燥し湿った場所が非常に少なくなってきた。年々、陸貝の種が少なくなってきた生息場所の予測ができていたのだが、乾燥が激しく観察目的を達することが困難になってきていることを痛感する。

## 文献

1. 河野圭典 (1966) : 県北の陸淡水産貝類、阿波の自然第四回学術総合調査、県北地方調査報告書、23~25、徳島県博物館、外。
2. 阿部近一 (1981) : 『徳島県陸産ならびに淡水産貝類誌』教育出版センター。
3. 肥後俊一・後藤芳夫 (1993) : 『日本および周辺地域産軟体動物総目録』エル出版局。
4. 湊 宏 (1994) : 日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究、日本科貝類学会。
5. 東 正雄 (1995) : 『増補改訂版 原色日本陸貝類図鑑』保育社。

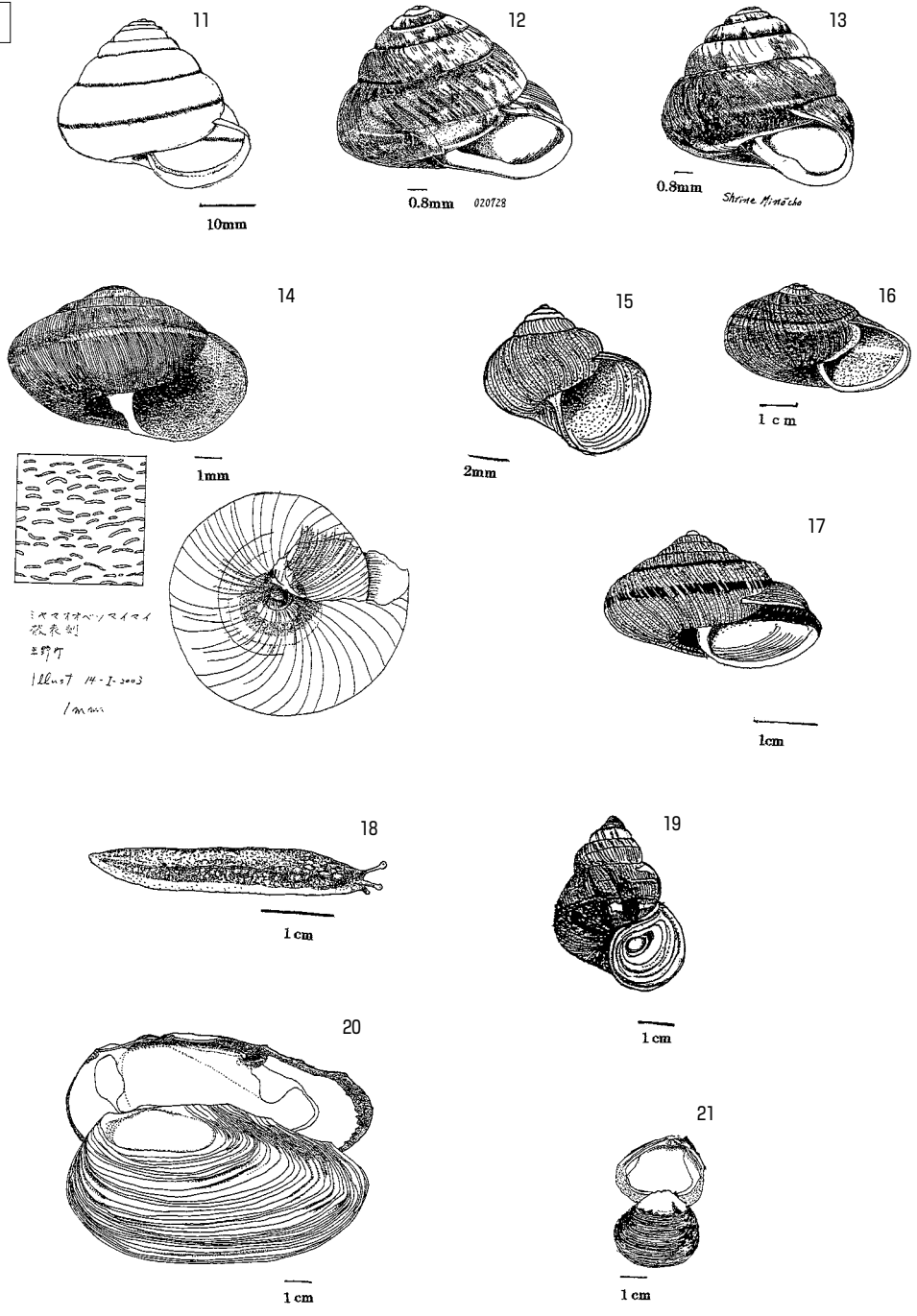
図版 1



(図版 1)

1. *Waldemaria japonica* var. *Expolita* (Pilsbry, 1903)  
スリツヤヤマキサゴ 殻径10~13mm
2. *Spirostoma japonicum japonicum* (A.Adams, 1867)  
ヤマクルマ 雄: 殻高5.8~6.8mm  
雌: 殻高6.4~7.1mm
3. *Cyclotus* (*Procyclus*) *campanulatus* Martens, 1865  
アツブタガイ 殻高10mm 殻径13.5mm
4. *Pinguiphaedusa pinh uis platydera* (A.Adams, 1867)  
ツムガタギセル 殻高16.0~28.0mm 殻径4.5~5.3mm
5. *Pinguiphaedusa awajiensis* (A.Adams, 1876)  
アワジギセル 殻高12.0~18.0mm 殻径3.5~4.0mm
6. *Tyrannophaedusa* (*Dicolliphaedusa*) *birabrata* (Smith, 1876)  
シリオレギセル 殻高18.0~30.0mm 殻径5.0~5.5mm
7. *Megalophaedusa martensi* (Martens, 1860)  
オオギセル 殻高36.0~45.0mm 殻径8.5~12.0mm
8. *Tyrannophaedusa* (*Aulacophaedusa*) *aulacophora*  
*aulacophora* (Pilsbry, 1900)  
クロチビギセル 殻高13.0~14.0mm 殻径2.8~3.0mm
9. *Mesophaedusa hickonis* (Boettger, 1887)  
コンボウギセル 殻高24.0~32.0mm 殻径6.0~7.5mm
10. *Japanochlamys awaennsis* (Pilsbry, 1902)  
アワクリイロベッコウ 殻高4.4mm~殻径7.8mm

図版 2



(図版 2)

- 11. *Satsuma Satsuma myomphala myomphala* (Martens, 1865)  
コベソマイマイ 殻高24~35mm 殻径40~50mm
- 12. *Satsuma (Satsuma) ferruginea* (Pilsbry, 1900)  
シメクチマイマイ 殻高13mm 殻径17mm
- 13. *S. (S.) Japonica heteroglypta* (Pilsbry, 1900)  
コニッポンマイマイ 殻高16.5~18.5mm 殻径17~19mm
- 14. *Aegists (Aegista) goniosomoides* Kuroda & Abe, 1980  
ミヤマオオベソマイマイ 殻高9mm 殻径15mm
- 15. *Acusta despecta sieboldiana* (Pfeiffer, 1850)  
ウスカワマイマイ 殻高21mm 殻径23mm

- 16. *Euhadra awaensis* (Pilsbry, 1902)  
アワマイマイ 殻高27mm 殻径47mm
- 17. *Euhadra sabunimbosa* (Kobelt, 1894)  
セトウチマイマイ 殻高25~29mm 殻径21~36mm
- 18. *Meghimatium fruhstorferi* (Colling, 1901)  
ヤマナメクジ 体長13~16cm
- 19. *Cipangopaludina japonica* (v. Martens, 1860)  
オオタニシ 殻高6.5cm 殻径5cm
- 20. *Anodonta (Sinadonta) woodiana* (Lea, 1834)  
ドブガイ (タガイ型) 殻長13cm 殻高8cm
- 21. *Corbicula corbiculina leana* Prime, 1804  
マシジミ 殻長4cm 殻高3.5cm